

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	「仲良くふれあいの場を」を全職員が念頭に置いて1歩1歩、歩んでおります	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	理念のもと「ゆっくりゆったり、けれどもしっかり」を、職員一同、入居者様と同じペースで生活して戴ける様に支援いたしております。	どこからでも目に入る様に壁の中央に理念を掲げています。入居者様にも‘よく見える、と好評です、朝礼でも唱歌を行っております。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	ホームの玄関先やフロアーに掲示して、いつでも御覧になれる様にしています。	玄関に入られてすぐ正面に大きく理念を掲げています。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	近辺に住宅が少ないので、公民館長さんも月1回は訪問して頂き相談にのって戴いています・老人会などに声かけし、参加を勧めています。いつでも声かけして戴けるように老人会の方との交流会を進めています、職場体験の子どもにも夕涼み会等には来て頂いています。	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	孤立することなく、自治会や老人会に声かけし、地域の人々との交流に努めている。花見会や運動会など	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者の方々と昼食を共にし、グループホームとはという事で話をし、又、質問等受けて分かりやすく説明し、地域の中に入りやすいように、取り組みを行っています。現在地域との運動会に参加させていただいています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員、それぞれに意見を出し合い、又、気付かない点等を改善に向けて、取り組んでいます。外出の機会を持つ様に考慮しています。花見、初詣、食事会、妙円寺参りなどの応援。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進委員の方々に、こちらの状況等を話し合い、それについて、個々の意見等を頂きながら向上に向けている。		第2回の推進委員会で‘公表の意味で推進委員会の内容をあつたかだよりにのせては？、という御意見をいただき、次号のあつたかだよりに写真付きで内容や推進委員会の意義等を掲載しました。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との連絡を密に取り、行事等へのボランティア的参加を呼びかけてます。分からないことに対して電話などをして意見を聞いております。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	月1回のミーティングで、分からない事や実例等混じえて、勉強会を行っています。		入所時より制度を利用されている方がおられた為、職員にも制度については勉強会を開き学んでおります。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を開き、虐待防止に努めています。介護方法などで困ったことがあれば、その事に対して皆で話し合い、意見を互いに出し合い、1番良い方法で介護できる様に心掛けています。		若い職員も多い為、介護経験の長い職員が相談にのったり困った事がないか日常的に声掛けをし、何かある時には、フロアー全体で話し合い、解決できる様にしております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所、退所時説明を行なっています、又電話や面会時に不明な点はその都度説明をして納得頂いています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第三者委員会の方や利用者様の意見を尊重して、朝の申し送り時等で職員間で話し合いながら運営いたしております。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回の割合でお便りで状況報告したり金銭帳など確認していただき印鑑を頂いています。	毎日の暮らしぶり、健康状態、職員の異動等については、毎日担当者が送る手紙や、あったか便りにて報告しています。突発的な体調不良時は電話にて連絡しています。面会に来られた時には直接、日々の状況などお話しして、御家族様とも会話が長く持てる様、心掛けております。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関入り口に意見箱を設置したり第三者委員会も設けています、家族会時説明しています苦情が出た場合はすぐに理事長とも解決の話し合いをし改善に努めております。現在苦情なし。	面会時や行事等で来所された時に職員側よりすすんで声かけを行い、意見・不満などを言いやすい雰囲気作りをしている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	誠心会の日本一やさしい施設を目指した10か条により、職員の意見を否定せず「もしも駄目なら変えればいいさ」の言葉を大切に毎日の業務にとり入れて行っております、ミーティング時話し合いも行っています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員いつでも連絡が取れる体制になっております、又行事の時などは社会福祉協議会よりボランティアの方たちの手伝いを頂いております。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	早めに対処し少しでも長く介護業務して頂くように話し合いを持って業務いたしております、管理者だけで解決出来ない問題は理事長などに相談致しております。職員交代の場合は利用者様を考慮して職員の配置を致しております	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
( 部分は外部評価との共通評価項目です )			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	誠心会全体で新人研修を行ったり他の研修会に参加致しております、あったかハウス施設内でも月1回勉強会を行っております。	月1回の勉強会以外にも日常的にも疑問や解からないことがあるときは職員同士で勉強したりしています、私たちが判らない事は施設長にお尋ねいたします。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設を見学して良かった点、工夫されていた面を職員で話し合い少しでもより良いところを話し合い良いサービスが出来るように努力を致しております。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人全体の福利厚生が充実しており人間関係もよく楽しく勤めています、友達同士で遊びに行ったりしております、歓迎会、夏祭り、忘年会、ボウリング、カラオケ、食事会、等。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	トラブルにならない様に務め常時声掛け話し合を持ち、入居者様が楽しく生活していただける勉強しております	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	身体的なこと能力的なこと又認知力低下により表明が困難な時でもサインを見落とさないように対応いたしております。理事長、ソーシャルワーカー、担当者等と相談している。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	理事長、ソ-シャルワ-カや管理者と相談しております、又入居後も電話や面会を通して話合える場を提供し情報交換をいたしております。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	理事長、管理者、職員一緒になり相談、希望を聞き支援いたしております。ケアプランにも反映して能力に応じた支援を致しております。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	グループホームの役割を説明、入居者様に日常の生活に慣れていただくことから始めています、他の入居者様、職員と一緒に少しずつ始めて能力に応じて行い拒否時は無理強いせず、様子を見ながら徐々に慣れていただける様、支援しています。御家族様にも状況報告を致し意見も取り入れて支援をしています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒にお茶の時間を過ごしたり話をしたりしています、若い職員に昔の言葉や生活暦を教えて頂く時もあります。言葉遊びの中からのが多いです。		若い頃に体験された戦争の事、今までされてきた仕事の話、昔からあるお菓子の作り方等々、色んな事を教えていただき、毎日の生活に役立てています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の生活暦や尊厳を保つ様に家族様と話し合いの場を持ち安心して生活して頂ける様にこころがけています、		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時等や毎日の生活の状況をお伝え出来る様にお手紙を発送させて戴いております、1回/2ヶ月写真も送っています。		日常での外出や年末年始の外泊等、御希望時にそえる様、支援しています。面会時、他入居者様を気にされることなく、ゆっくり話をしたり過ごせる様、支援しています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様1人1人の生活暦を知りその人らしく個人情報に努め尊厳が癒される事無い用に楽しく過ごして戴ける様に支援しています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	天気の良い日室外で円いテーブルを囲みお茶を飲んで楽しんで居ります、職員も入居者様が孤立しないように声かけや励ましを行い支援しております。		食事時などできる方が介助の必要な方のエプロンをつけて下さったり、配膳や下膳なども協力して行なっている。10時、15時のお茶の時間もお茶やお菓子を配ったりしていただいています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	年2回の「あったか便り」の発送、年賀状・暑中見舞いの発送や、花見・クリスマス会のご案内・招待状の発送をしています。		
<b>Ⅲその人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様のご希望を基本に、ご本人や家族様とコミュニケーションをとりながら配慮しその日の健康状態も考慮しています。		入居者様が家が気になる、墓参りに行きたい、等の希望がある時は一緒に出かけて、安心して戴ける様に支援いたしております。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者様、1人1人の尊厳や経験を元にしながら、ご家族様との面談時に情報交換を行っています。		お茶を飲みながらや調理をしながら、何気なく若い頃、どのような仕事をしてきたか、若くしてご主人をなくし苦労した事、田んぼや畑を1人でやって来た事等色々な話をさせていただきます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者様の人格や個別性を重視し利用者様の能力に応じてさり気無く支援致しております。車椅子でも手の麻痺がない方等お絞られたみ、洗濯物たたみ、お茶碗拭き等いつて戴いております。		片麻痺が有る方でも新聞折等を「ゆっくりでもいいからしてもらいませんか」と声かけにてして頂いて下さいます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日のモニタリングや申し送り、ミーティングの際に意見の交換をしご家族様にも面談や電話、お手紙等でご意見・ご要望を伺いながら作成しています。		各入居者様ごとに担当者を決めており、毎日の介護をする上で気になる点や気付いた点を情報収集しながら、その点についてどの様に支援して行くことで安心して入居者様が生活できるか色々な意見やアイデアを出し合い介護計画を作成しております。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご家族様や主治医の意見も取り入れ見直しを行い、常に面談や電話、お手紙等でご意見・ご要望を伺いながら作成しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画を基に個別の日々の変化を記録しており、介護計画の見直しに活用しています。あったか独自のアセスメント表を持ちえておこなっています		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	バリアフリーになっており、手すりやトイレ、洗面所、に安心して生活が出来るように作られています。浴室も、手すり・すべり止めなどを設置し入浴出来るように工夫しております。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員さんとも月に1回お会いして話す事や中学生の体験学習なども2ヶ所の中学校より受け入れて行っています。		花見会やクリスマス会などの行事にはボランティアの方達に来て戴いています。消防訓練を2回／年行い火事の時の非難の仕方や初期消火の方法等指導して頂いております。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の介護支援専門員との連絡を共有しており、あったかハウス施設の見学などに来られています、こちらからもサービスを受ける際の情報交換を行なっております。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	相談委員や介護保険課の職員と話し合いを持ち支援できるように取り組みしています。	○	包括支援センターは最近出来たばかりなので今後協働し連携をとって参りたいです。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ゆのもと記念病院と医療連携を図りながら、常時状況報告に務めて、体調不良時などの早期発見に務めるよう支援しています。		早期発見に務め医療連携を図り行っております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	常に24時間協力病院、主治医との連絡がすぐ取れるようになっており指示が受けられます。医療連携も図り常に主治医や看護師と連絡を回しています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医療機関と連携を取り、週1にナースも様子を見に来て下さっています。必要な方は、居宅療養管理指導も入っています。		看護師が来られた際に体調面などで気になることや問題が有る時にはアドバイスや指導を受けています。緊急時は直に連絡して相談になっていただいで降ります。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、面会に伺い1日も早く元気になるように声かけ等行っています、早期退院について医療機関との話し合いをしています。		面会に行き元気な顔を見ることで早く施設に帰りたいと言ってくださいます。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者様の状態を主治医、ご家族様、スタッフが話し合いを持ち連携を取り支援いたしております。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	毎日の申し送り、ミーティング等で、介護の仕方を見極めケアを行い、安心して・安全に過ごせる様に支援しています。職員皆んなで病状に対しての勉強会や話を常時行い緊急時の対応を勉強しています、(普通救急救命講習も受けています)		主治医や医療連携を図り相談しながら行っております。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	各医療福祉施設との連携を行うとともに、ご家族様との十分な説明や同意、入退居時のダメージを極限に減らす様努めています。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	1人1人の個性を重視し、理念に沿って「ゆっくりゆったりけれどもしっかり」を基本にゆっくりと声かけしさり気なく支援いたしております。	特にトイレ誘導時の声かけは他者に悟られない様にそっと声かけする等気をつけています。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	外出や食事の献立に入居者の意見を聞き予定を立てています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の動きが途中で中断しても急がせることなくさり気なく声かけしてその人の状態にあわせてその人のペースで行っていただき見守りをしながら支援しています、	「今日は天気が良いから外に行きたいね」と言う意見があれば外に丸テーブルをもって行きお茶を飲んだり、ドライブに出かけたりしております。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	地域の美容院の方に2, 3ヶ月のペースで来て頂いています、	家族様や本人の希望により他の美容院に行かれることもあります
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は能力に応じて行って頂いています、車椅子の方にはもやしの根切り、食後はお盆拭き等して頂いて降ります、歩ける方には食器拭き、配膳下善をして頂いております。	台所へ一緒に入っていただき、職員見守りのもと、野菜を切ったり皮剥きなどして頂いております。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコ・お酒は日常的に希望される方はいませんが、お酒は花見やクリスマス会などのイベント時には出しています。おやつ、飲み物は買物時に購入されたり、ヤクルトの方に毎週金曜日に来ていただいています。	本人持ちの冷蔵庫を自室に持ってあり、御家族が2～3日おきに面会に来られた際おやつ等を持って来てくださり、召し上がっておられます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個別のサインを見逃さないように努力し、声かけや誘導をしており、排泄の自立支援を行っている。		自室で休まれている時ナースコールや直接大きな声で職員を呼ばれる入居者様もおられトイレで排泄していただいております。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、お好みの時間を配慮している、入浴が好きでない方は声かけにも工夫しておこなって支援いたしております。、状況により部分浴、清拭・更衣等も行っています。		声かけを工夫しても体調不良を感じ入浴されない時は清拭(更衣、部分欲、足浴)にて対応いたしております。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者様一人一人の睡眠パターンを把握し、夜眠れない入居者様には、話などをして、「そろそろ寝ましょうか。」と声かけて自然体で接している。		
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	グループホームの基本である自立支援に向けた場面作り(畑の作業等)を職員は、一人一人の能力(尊厳)に合わせて支援を行っております。		お菓子作り(いこもち)、漬物の漬け方、干し大根の作り方などの指導をして頂きながら一緒に行って降ります。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様やご家族様と相談の上、入居者様それぞれの希望に応じて金銭管理の支援をしています。(お菓子やヤクルトを買っています。)		一緒に墓参りに行った時に花屋に寄り本人に直接買っていただいています。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者様が外に出たいときにスタッフと一緒に散歩に出たりドライブをしたり庭先で花壇を御覧になったり、お茶を飲んだりして過ごしています。		墓参りの花を買ったり自宅が気になられる方は一緒に自宅まで御家族の許可をいただき外出いたしております。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	レストランに食事に行ったり、妙円寺公園にドライブに行ったりしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	「家族が最近面会に来ないので身体でも悪くして居るのではないかと気になるんだけど、自分は耳が遠くてよく聞こえないから代わりに電話して欲しい。」と言われ、職員が電話を掛ける事があります		年賀状もご家族様に書いてもらっています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問していただけるように、笑顔で明るくお出迎えをし入居者様代理でお茶の接待をしている。訪問時は心地よく過ごせるような配慮を行っております。		
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1回のミーティング時に身体拘束をしないケアの勉強会を実施しております。		車椅子も多いのですがY字帯など使用せず、見守りで滑落防止に努めています、オムツ外しをされる入居者様も居られますがその都度対応しています、居室の見回りや見守りを行っております
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自由に入出入り出来るようにしており、鍵をかけず気配りをしています。外に出る際は、一緒に出かける様に支援しています。		居室にも鍵を掛ける事は無く本人の希望でフローアで過ごされる時はドアだけを閉める方車椅子での出入りがしにくい為、開けたままの方とその方に合わせた方法で取り組んでおります。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者様の目の届く範囲に常時職員が居るようにしております。		夜間は巡視にて安全に過ごせる様に見回りを行なっています。(21時、0時、3時、5時)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬、洗剤、刃物の管理には注意しています。必要な時は一緒に危険がないように使っていただいたりして常に安全に使用出来るようにしています。		洗剤などは手の届かない上部に保管し、使用時には職員と一緒に使用しております、(ポリデント等の小さな物は薬品庫に保管し常に鍵を掛けて管理しています。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救急対応マニュアル作成されており職員は認識している、又防火訓練等年2回行っております。常時入居者様の状態は声かけして注意を配慮いたしております。		(転倒予防、誤嚥、誤薬予防、緊急対策等)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急時のマニュアルもあり緊急体制も行なわれており又スタッフ全員が普通救命講習を取得しております。新人職員も受けていただいております、更新が必要な職員は3年置きに受講いたしております。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人の協力を得られるよう働きかけている	年2回の防火訓練をしています。自治会長や近隣住民に協力出来るように声かけをしています。地区の消防団とも連絡致しております		避難訓練を今後とも2回/年行ないます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族様に面会時や電話、お便りにて連絡して説明しています、協力がいただける分は協力していただき本人の意思も大切にして毎日を過ごしていただきたい、		病気のに関するリスクについては主治医より直接説明をしていただいております。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	主治医への迅速な連絡が出来るような体制が出来ております。毎日のバイタルチェックで一人一人の目安を把握してまず。医療連携もおこなっております。		最初のバイタルチェックで普段と異なる値が出た場合は赤印でチェックし再検を行い変化が無い場合は医療連携を図っております。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師さんに指導していただいております、解からないときは連絡にて教えて頂きます又服薬管理表も戴いており、職員何時でも見られるように各モニタリングにつけています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	ミーテング時脱水症の勉強会やレクレーションなどで体操をしたり、水分量のチェックをしております、食事にも野菜を多く出すように心掛けております。		おやつにも食物繊維を含んだお芋を多く出しております。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声かけや介助で皆さんが毎食後行っています。夜間は義歯の人はポリドントを使用しています。又、月1回の訪問歯科で指導を受けています。上肢の筋力低下などで本人が出来ない場合は職員が介助しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士さんの指導の元に栄養管理しています、毎日食事チャートに記録し、職員全員が情報を共有するとともに、水分補給や栄養バランス等に気をつけるようにしています。		咀嚼や嚥下状態に合わせて副食をやわらかく調理したりして細かくし工夫しています、ご家族様にも好き嫌いをお聞きして参考にしております。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルを作成しています。予防接種を受けており、外部よりの面会の際は手指の消毒、手洗いうがいの声かけ励行もしています。		インフルエンザは入居者様、職員全員予防接種を受けております。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日台所、調理用具等の殺菌・消毒しております。また、冷蔵庫は一週間に一回掃除し、賞味期限の日付もチェックしています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭菜園やプランターや鉢に花を植えたりし、誰でも安心して出入り出来るような環境作りをしております。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の物を飾ったり、ソファやコタツなど家庭的な調度品を持ち込んだり、玄関やフローリング心温まる生活環境作りにも心掛けています。		テーブルがフローリングの中央にある為調理の音ご飯が炊ける音や味噌汁の出来る匂いがして生活感を感じていただけます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広いテーブルを囲んで、入居者様が全員と交流出来るようにしており、居間や食堂にはソファにも季節の花を飾り、自由に過ごせるようにいたしております。談話室にもソファが置かれゆっくり致しております。		ソファにて歌を唄ったりして過ごして居られます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様にも声かけ致しており、ベッド・寝具・タンスは家庭的なものが備えてある使い慣れたやテレビ等持ち込まれており、写真や絵、手作りカレンダー等があり、安心できる場所を提供しています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常に換気に対して温湿度に対して注意しながら天候に応じては、天窓や部屋の窓も開放して、健康的に過ごしていただける様、心掛けています。(温度計や湿度計も設置し業務日記に記録いたしております)		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差が無く、安心して移動出来るように必要な所には手すりが設置しており、浴室にも滑り止めやシャワーチェア等の配慮をしております。		フローの両壁、トイレ内浴室内浴槽も広い為に浴槽内つかったときに時に体が浮いたり移動時に不安なく出来る様に手擦りが備えてあります
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	更衣、入浴時の洗身、トイレ仕方等々、声かけをしながら次どうすればいいのかさえ解かれば出来る方もおられる為その人に合わせ、できる限り自分の力で出来るように支援しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天気の良い日には外にテーブルやイスも持ち出しお茶を皆さんで飲んだりしていただいています。		

V. サービスの成果に関する項目	
項 目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の
	②利用者の2/3くらいの
	③利用者の1/3くらいの
	④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある
	②数日に1回程度ある
	③たまにある
	④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が
	②利用者の2/3くらいが
	③利用者の1/3くらいが
	④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が
	②利用者の2/3くらいが
	③利用者の1/3くらいが
	④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が
	②利用者の2/3くらいが
	③利用者の1/3くらいが
	④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が
	②利用者の2/3くらいが
	③利用者の1/3くらいが
	④ほとんどいない
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が
	②利用者の2/3くらいが
	③利用者の1/3くらいが
	④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と
	②家族の2/3くらいと
	③家族の1/3くらいと
	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほほ毎日のように	
		②数日に1回程度	
		③たまに	
		④ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている	
		②少しずつ増えている	
		③あまり増えていない	
		④全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が	
		②職員の2/3くらいが	
		③職員の1/3くらいが	
		④ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が	
		②利用者の2/3くらいが	
		③利用者の1/3くらいが	
		④ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が	
		②家族等の2/3くらいが	
		③家族等の1/3くらいが	
		④ほとんどできていない	

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)